

No.1

# 小麦栽培情報

【福井県大3号】

JA福井県  
【福井基幹支店】

～ 4年産平均反収224kgを上回る収量を目指して!! ～

## ● 万全の排水対策で適期播種を行いましょう!!

### 圃場準備と播種のポイント

#### 1. 土づくり：適正pH6.0～6.5

麦の健全な生育に土づくりは重要です。土づくり肥料で適正PHに調整しましょう。「麦豆一番」60kg/10a、または、「ようりん」40kg/10a+「マグエース」100kg/10a



#### 2. 播種：播種時期は10月10～30日の期間内

播種適期は、原則「10月20日～30日」頃です。しかし、山間部の場合、日射量や地温の関係から「10月10日」頃より播種を開始する必要があります。地域の環境にあった播種を計画し、圃場が乾いた状態で土壤水分条件が良いときに丁寧な作業を行いましょう。

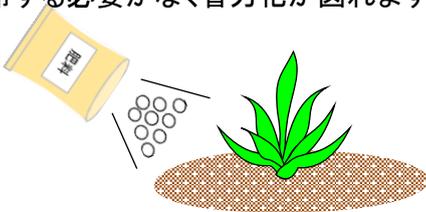
- 土壤水分の高い圃場を無理やり耕起し播種しても、出芽率が低く上手く育ちません。やむを得ず播種する場合は、「条播」よりも「散播」をしましょう。

- 播種量「条播」7～10kg/10a
- 播種時期  
山間部：10月10日頃～  
平野部：10月20日頃～
- 播種深度：3cm程度



#### 3. 施肥：年内に肥料切れをさせない!!

年内に「肥料切れ」しないように、施肥設計をしましょう。年内に「肥料切れ」を起こして「黄化」すると、茎数確保ができず極端に減収します。『基肥一発肥料』は、緩効性肥料により、年内の「肥料切れ」を防ぎ収量・品質が安定します。また、追肥を散布する必要がなく省力化が図れます。



施肥体系	資材名	基肥	年内追肥
基肥一発	大麦一発523	35～40kg	なし
分施	アグリフラッシュ	20kg	20kg

- 分施(基肥・追肥の施用)の場合は、11月中旬～下旬にかけて年内追肥を必ず実施しましょう。

#### 4. 除草剤：雑草に負けない!!

雑草が繁茂すると肥料のほとんどが雑草にとられてしまい、減収に繋がります。播種同時または播種直後の散応で雑草繁茂を防ぎましょう。

区分	薬剤名	使用量	備考
細粒剤	ハーモニー細粒剤F	4～5kg	播種後～麦3葉期(雑草発生前)
粒剤	ガレースG粒剤		播種後発芽前(雑草発生前)
細粒剤	キックボクサー細粒剤	3～4kg	播種後発芽前(雑草発生前)
乳剤	トレファノサイド乳剤	200～300ml	播種後発芽前
	ボクサー乳剤	400～500ml	播種後～小麦4葉期
水和剤	ハーモニー75DF水和剤	5～10g	播種後～

- 除草剤を2回使用する場合は、使用基準に制限があります。JA・農林総合事務所にご相談下さい。

★条播作業は計画的に1日で耕起から播種まで完了させましょう。

★耕起から播種に間が空く場合は、降雨に遭わせないよう天気予報に注意しましょう。

適正播種で収量アップを目指しましょう。『小麦栽培情報』は永平寺支店が担当しました。